

シリア国
水資源情報センター整備計画
終了時評価調査報告書

平成17年3月
(2005年)

独立行政法人 国際協力機構
地球環境部

環境

J R

05-001

序 文

日本国政府は、シリア国政府の要請に基づき同国水資源情報センター整備計画を実施することを決定し、2001年より独立行政法人国際協力機構（Japan International Cooperation Agency、JICA）がこの技術協力プロジェクトを実施しています。

当機構は本プロジェクトの目標達成度と進捗状況を確認するため、協力期間が終了する約8ヶ月前にシリア国へ終了時評価調査団を派遣しました。同調査団は当機構の安達一を団長として平成16年10月1日から同年10月21日までの21日間の日程で派遣し、その際、シリア国灌漑省と「合同評価委員会」を結成してプロジェクトの終了時評価調査を実施しました。

調査団は本プロジェクトの目標・成果・活動の達成度と実績、およびプロジェクトの進捗を促進・阻害した要因等を関係機関との協議や現地調査で確認し、評価結果に関する議事録（Minutes of Meetings、M/M）に署名しました。

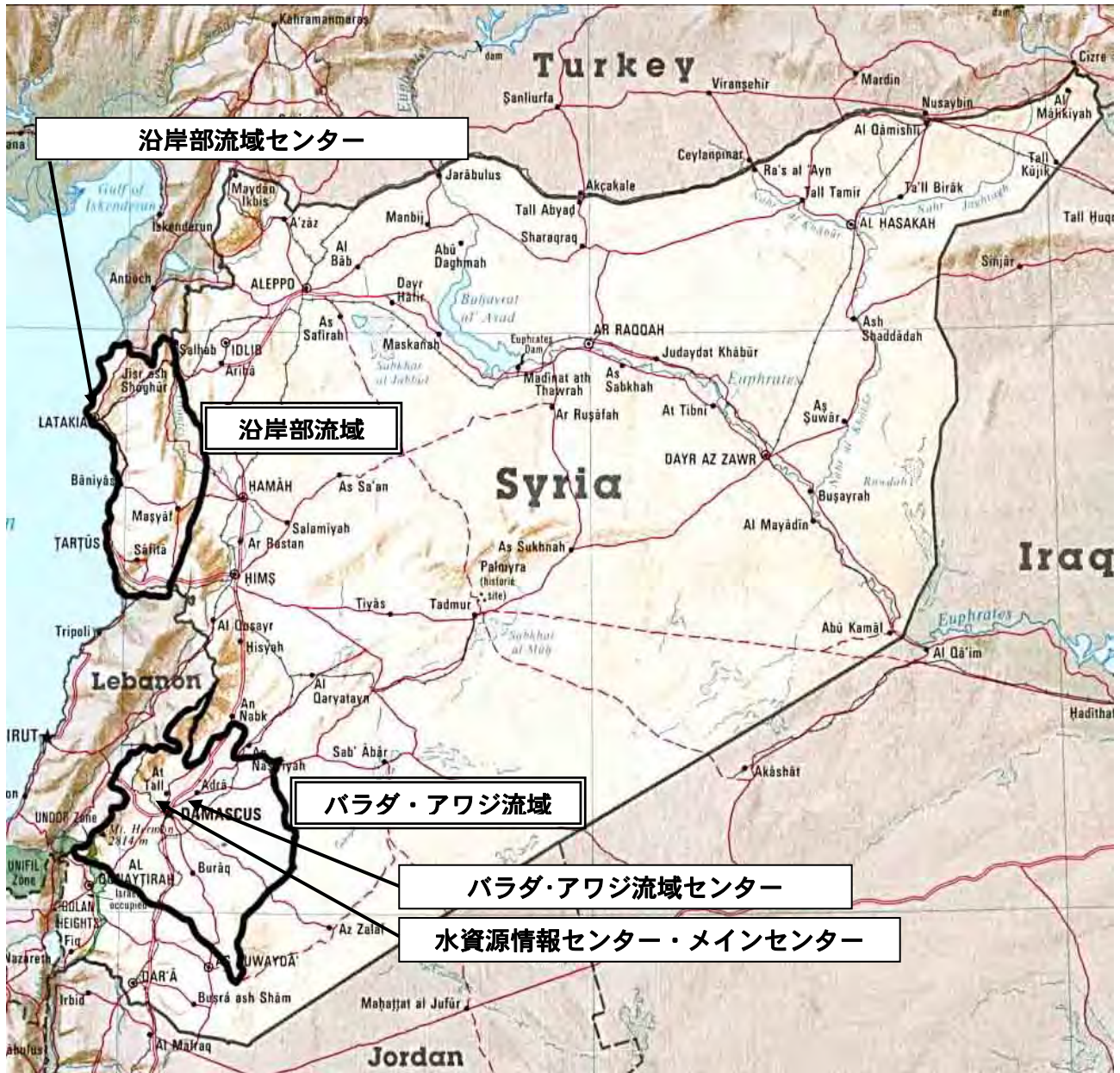
本報告書は、今回の調査結果を取りまとめ、本プロジェクトのより良い活動の実施や本プロジェクト延長の必要性の検討に資することと、他案件において本プロジェクトの教訓を生かすことのために作成しました。

なお、今回の調査結果を受け、平成17年3月22日にはシリア灌漑省とJICAシリア事務所との間で協力期間を延長する討議議事録（Record of Discussions、R/D）に署名・交換を行い、プロジェクトを平成19年6月14日まで延長することを決定しております。

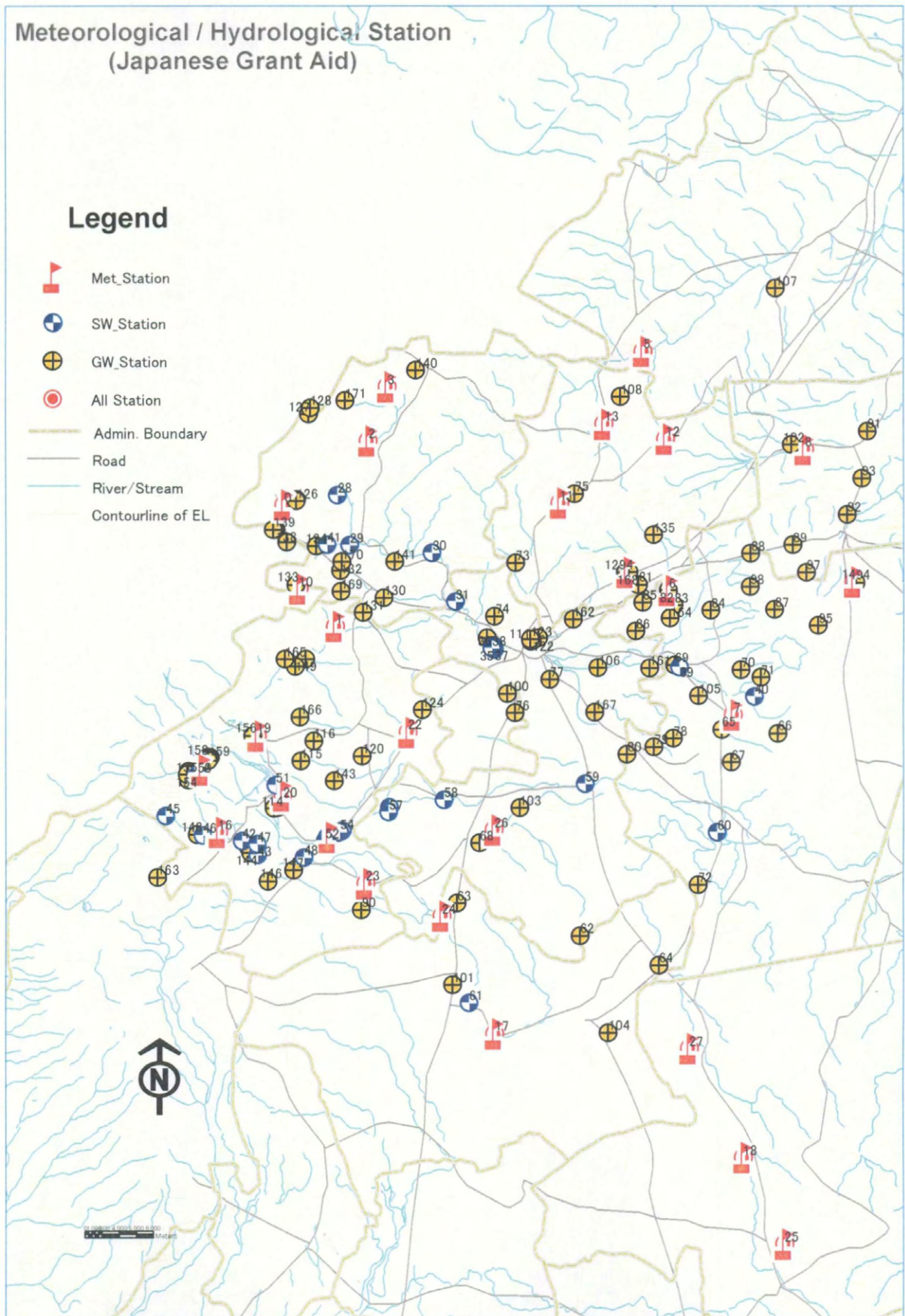
終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成17年3月

独立行政法人 国際協力機構
理事 北原 悦男

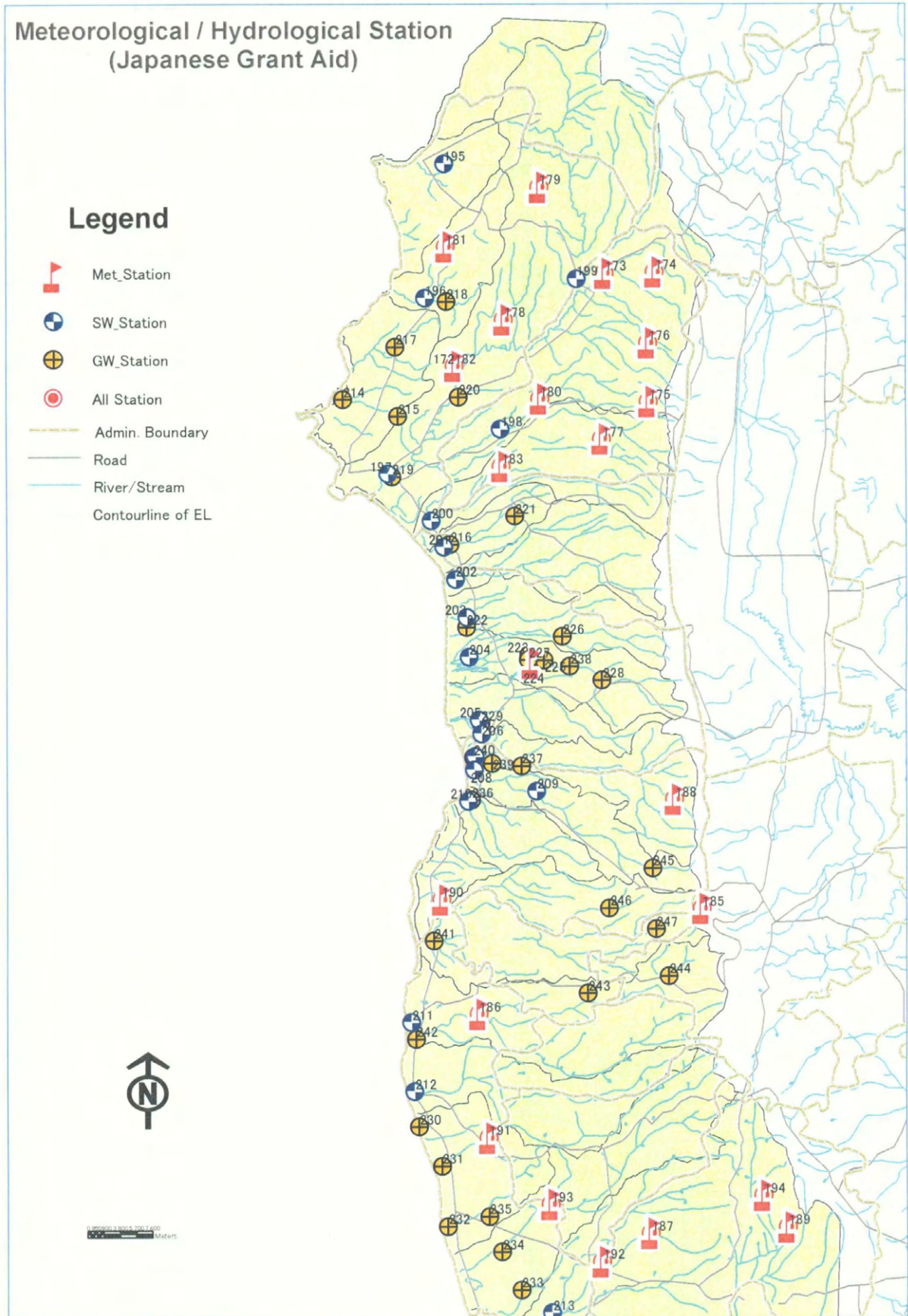


調査対象位置図



無償資金協力による機材供与サイト暫定計画地図（バラダ・アワジ流域）

2004年10月時点（その後変更有り）



無償資金協力による機材供与サイト暫定計画地図（沿岸部流域）

2004年10月時点（その後変更有り）



10/4 実施プロセス確認ワークショップでの副大臣 (Dr. Eng. Soliman Ramah)の開会挨拶
左からバラダ・アワジ流域総局長Dr.Jamil Fallouh、副大臣、沿岸流域総局長Eng. Husein Makhoulf,
WRICセンター長 Dr. Bachar Faiad)



Dr. BacharがWSのプロセスを収集・整理部へ説明



収集・整理課グループの議論



分析部グループの議論



技術支援部グループの議論



センター長グループの発表
(沿岸部流域WRIC副センター長Eng. Mimr Assad)



森チーフアドバイザーによる閉会の挨拶



10/5 バラダ・アワジ流域WRIC 分析部
右はセクションリーダーMr. Kassem Natouf



10/7 沿岸部流域WRIC 収集整理部
左はセクションリーダーMr. Mohammad Sai



10/10 灌漑省大臣 (H.E. Eng. Nader Al-Bunni) への
表敬訪問と評価調査内容の説明



10/10 企画庁への表敬訪問と評価調査内容の説明
中央は副庁官のDr. M. Bassam Al-Sibai